

知ってる？

嘱託社会教育主事

しよく たく しゃ かい きょう いく しゅ じ

嘱託社会教育主事ってなに？

仙台市には、市立学校に勤務し、社会教育主事（士）※の資格を持つ**教員**に対し、仙台市教育委員会が**社会教育主事を委嘱する**制度があります。この制度は、昭和46年から続く、全国的にも珍しいもので、**仙台市独自の制度**です。委嘱された教員を、「**嘱託社会教育主事**」と呼びます。

※社会教育主事…社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。〔社会教育法〕

どんな活動をしているの？

学校教育に携わりながら、以下の活動を行っています。

- ◆ 子ども会のリーダーを育てる「インリーダー研修会」の講師
- ◆ 中高生ボランティアである「ジュニアリーダー」の育成・支援
- ◆ 市民センターにおける様々な講座の企画や実施
- ◆ 「楽学プロジェクト」「はたちの集い」などの生涯学習事業への協力
- ◆ 勤務する学校における、地域連携・協働を推進するための活動【重点活動】



時代から求められています！

現在の激しい社会環境の変化の中で、子供を取り巻く問題が複雑化しており、**社会総がかり**で対応することが求められています。そのためには、地域と学校が連携・協働して取り組むことが重要であり、**嘱託社会教育主事の活躍**が期待されています。



もっと具体的な活動を教えて！

① 社会教育・生涯学習の振興を図る活動



嘱託社会教育主事は、仙台市嘱託社会教育主事研究協議会※を設立しています。

※仙台市嘱託社会教育主事研究協議会…嘱託社会教育主事で構成される社会教育関係団体（昭和46年発足）。会員による意見交換、協議等を通じ、本市の社会教育行政の発展に寄与することを目的として、各部会に分かれて活動をしています。



② 勤務学校での活動(社会教育主事としての専門性を活かして)

☆地域連携担当教員※として

学校支援地域本部や市民センターとの連携・協働による子どもの豊かな学習環境づくり等



学校支援地域本部スーパーバイザーとの打合せの様子

☆地域連携担当教員の支援者として

地域連携担当教員への地域団体・社会教育事業等の情報提供やアドバイス等



地域連携担当教員との情報交換の様子

☆校内の様々な役割に応じて

学校と地域の連携・協働の視点を生かした取組



職場体験活動



地域学習

※地域連携担当教員…「地域とともに歩む学校」を推進する上で、学校の教育活動と地域（関係機関を含む）の力をコーディネートする教員。市内すべての小・中学校、中等教育・特別支援学校に配置されています。